

縦走分科会百名山 雨飾山

山行日： 2022年 10月1日（土）2日（日）

参加者： L Y口 m、S L O川 k、M山 h、S嬢（会員外）S木 m（記）

場所： 上信越 雨飾山

行程： 1日： 松戸 8：00＝小谷温泉・雨飾荘 15：00

2日： 雨飾荘 5：00＝高原キャンプ場 5：10/5：20－ブナ平 6：15/6：35－

荒菅沢 7：10/7：20－笹平－雨飾山 9：10/9：35－笹平－荒菅沢

ブナ平 12：25/12：30－高原キャンプ場 13：10/13：40＝松戸駅西口 20：20

記

久しぶりの好天气に恵まれ渋滞が予想されたためスタートを1時間早めたおかげで事故渋滞もありながら予定の15時に雨飾荘に到着した。

館内は綺麗お風呂は内湯と露天があった。料理はお品書きの長さが 30cmもありと品数の多さに多くビックリした。中でもイワナの刺身が出た、初めて食した。頭・骨はすぐから揚げにしてくれてこれも美味しかった。

翌朝は快晴、日の出まじかのため満天星空とはならなかったが久しぶりにオリオン座を見た、見ていると右から左へと動いていた人工衛星（ISS）を発見！

高原キャンプ場の駐車場は係員が数名出て案内をしている、既に上部の駐車場は満杯、我々は雨飾荘専用の駐車場に止めることが出来ラッキーであった。登山届を提出して出発、最初は沢沿いの木道を行く、暫くは下った後いよいよ登りにかかる、

大きなブナの木があるブナ平に到着し1回目の休憩、ブナ林の中を暫く登る、登山路はブナの木根が露出している箇所が多い。平坦地から急な下り坂を百メートル以上下ると展望の良い荒菅沢にでる。ここから見る雨飾山は布団菱の岩壁がそそり立ち荒々しい。

ココから笹平まで急登が続く、岩場の尾根やガレ場を登る。笹平からは雨飾山、火打山など眺望が良い紅葉を期待していたが未だ1週間以上早い感じである。暫し楽しんだ後、背丈ほどの笹原を往く暫く緩い登りの後、最後は急登である。雨飾山の頂上は双耳峰である。



どちらも登山者で一杯である。今日は快晴、360度の視界は開けている。後ろ立山連峰、槍・穂高、戸隠、高妻、火打ち、そして糸魚川河口、日本海と素晴らしい。下山は急坂が多い、ツアー登山客もあり渋滞が発生している中、慎重に下る。

荒菅沢まで下り、日差しが暑いので木陰をさがしての昼食休憩。雨飾荘の弁当を頂く、ご飯とおかずが二重になっている豪華(?)な弁当であった。ここからブナ平まで約1時間、さらに登山口までは50分、誰かが途中大木を発見葉が柳に似ているとのこと、管理棟の係員に聞いたらドロヤナギ(ドロノキ)との事。予定より早めに到着。アイスクリームを食べ出発した。帰途立ち寄った梅池近くのコンビニから後立山連峰の名峰が快晴の空に映えて美しく感激した。こんな景色は二度と御目にかかれなんでしょう!大きな渋滞もなく帰着できた。企画しリーダーを務めてくれた山口さん他のメンバーの皆さん有難うございました。

